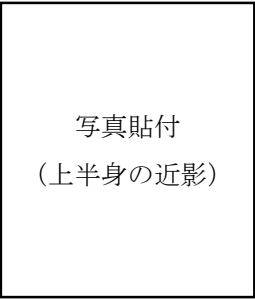


奨学金給付申請書

受託者 三井住友信託銀行 御中

公益信託渡辺錠太郎記念教育基金による奨学金の給付を受けたく、下記のとおり申請します。なお、この書類記載の氏名・住所等の個人情報について、運営委員会等への提供に加えて信託管理人や主務官庁等に開示されることに同意します。私は、後段に記載の「反社会的勢力ではないことの表明・確約に関する同意」に記載の内容を了承します。



年 月 日

申請者氏名		(フリガナ)	性別	男・女	生年月日	西暦 年 月 日 (満 才)
住所		〒 TEL ()			家族構成	合計 人 (本人込)
主生計維持者	氏名	(フリガナ)	印	続柄	生年月日	西暦 年 月 日 (満 才)
	住所	〒				
	勤務先名	(給与収入・事業収入・その他)		業態	世帯収入合計	万円 (前年度分の世帯全員の 税引前収入合計)
在籍学校・学年		高等学校		卒業予定	年 月 卒業予定	
		年生 (年 4 月 現在)		卒業予定		
奨学金を必要とする事情				≪推薦者欄≫ 推薦理由 前年度学業成績(小数第2位迄) *高校1年生は中学3年生の成績 ①主要5教科平均 : [] / 5 ②全教科平均 : [] / 5 ※1 学業成績は、分母を5として、主要5教科(英・数・国・理・社)評定平均および全教科評定平均(体育や芸術も含む)を、数値で記載してください。 ※2 高校1年生については中学3年生の成績を記入してください(添付資料は各科目の成績が正しく確認できれば、成績証明書でなくとも構いません。中学校の成績証明書が封緘されている場合、高校の先生が開封されても差し支えありません。		

【主な記入事項および注意事項】

- ① 申請理由の妥当性および緊急度
(日常生活を賄っている資金の状況がわかるようご記入ください。)
- ② 家族の状況、両親ならびに兄弟姉妹の状況
- ③ 本人の学業等に対する努力の状況など
- ④ 他の奨学金の申請、あるいは給付の有無など
(他の奨学金との併給も可能ですが、この場合受給状況もあわせてお知らせください。)

注) この申請でご提供いただく氏名・住所等の個人情報については、当基金の助成事業のためのみに使用します。 《銀行使用欄》

精査印		登録印	
-----	--	-----	--

得意分野や将来についての考え（必ず生徒本人が記入してください）

申請書付表

家族構成	続柄	同一生計者に○	氏名	年齢	勤務先・在籍学校学年等	年間収入 (各種手当は除く)
	父			才		万円
	母			才		万円
	本人			才		万円
				才		万円
				才		万円
				才		万円
各種手当について		いずれかを丸で囲んでください				
生活保護手当		有 ・ 無		有の場合月額（世帯合計）		万円
児童扶養手当		有 ・ 無		有の場合月額（世帯合計）		万円
その他 <small>(以下のいずれかに○をお付けください) (年金・養育費・借入・預金取崩・その他)</small>		有 ・ 無		有の場合月額（世帯合計）		万円
他の奨学金		有（貸与/給付）・無		有の場合月額（世帯合計）		万円

推薦者	学校名 校長名	〒	窓 口 担当名
	所在地		TEL ()

奨学金が支給されることとなった場合の奨学金振込口座

(※) 振込口座は、必ず、奨学生ご本人様名義の口座をご記入ください。

お振込先	ゆうちょ銀行の場合は、「ゆうちょ」とご記入ください。	(○をおつけください) 銀行 信用金庫 信用組合 農協	ゆうちょ銀行の場合は、支店名欄には店名(3桁の漢数字)をご記入ください。	支店 出張所 営業部
預金種別	(○をおつけください) 普通 その他 ()		口座番号	
	●フリガナは、1つのマスに一文字ずつご記入ください。●カタカナ左づめでご記入ください。 ●姓と名の間は1マスあけてください。			
お受取人	フリガナ			
	口座名義(※)	≪注意≫ 口座情報に間違いがあると、奨学金の初回振込が大幅に遅れることがあります。		

反社会的勢力ではないことの表明・確約に関する同意

私（法人の場合は、当該法人の役員等を含みます。）は、次の①の各号に掲げる者もしくは②の各号のいずれかに該当し、もしくは③の各号のいずれかに該当する行為をし、または①もしくは②にもとづく表明・確約に関して虚偽の申告をしたことが判明した場合には、通知により貴公益信託からの助成金・奨学金等の交付が廃止されても異議を申し立てず、既に貴公益信託から受給した助成金・奨学金等の全額を直ちに貴公益信託に返還いたします。また、これにより手数料、費用、損害が生じた場合でも、いっさい私の責任といたします。

- ①現在、次の各号に掲げる者（以下これらを「暴力団員等」という。）のいずれにも該当しないことを表明し、かつ将来にわたっても該当しないことを確約いたします。
- A. 暴力団
 - B. 暴力団員
 - C. 暴力団員でなくなった時から5年を経過しない者
 - D. 暴力団準構成員
 - E. 暴力団関係企業
 - F. 総会屋等、社会運動等標ぼうゴロまたは特殊知能暴力集団等
 - G. その他前各号に準ずる者
- ②現在、次の各号のいずれにも該当しないことを表明し、かつ将来にわたっても該当しないことを確約いたします。
- A. 暴力団員等が経営を支配していると認められる関係を有すること
 - B. 暴力団員等が経営に実質的に関与していると認められる関係を有すること
 - C. 自己、自社もしくは第三者の不正の利益を図る目的または第三者に損害を加える目的をもってするなど、不当に暴力団員等を利用していると認められる関係を有すること
 - D. 暴力団員等に対して資金等を提供し、または便宜を供与するなどの関与をしていると認められる関係を有すること
 - E. 役員または経営に実質的に関与している者が暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有すること
- ③自らまたは第三者を利用して次の各号に該当する行為を行わないことを確約いたします。
- A. 暴力的な要求行為
 - B. 法的な責任を超えた不当な要求行為
 - C. 取引に関して、脅迫的な行為をし、または暴力を用いる行為
 - D. 風説を流布し、偽計を用いまたは威力を用いて貴公益信託の信用を毀損し、または貴公益信託の業務を妨害する行為
 - E. その他前各号に準ずる行為